平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 トレーディア株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9365　URL
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鈴木 安雄
問合せ先責任者（役職名）取締役財務本部長　（氏名）山口 勝　TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,067	△5.6	84	△54.1	121	△45.5	75	105.9
24年3月期第3四半期	11,721	1.7	184	151.4	222	52.3	36	△53.7

（注）包括利益　25年3月期第3四半期　54百万円　（△19.1%）　24年3月期第3四半期　67百万円　（6.4%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.16	―
24年3月期第3四半期	2.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,761	2,290	23.5
24年3月期	9,002	2,310	25.7

（参考）自己資本　25年3月期第3四半期　2,290百万円　24年3月期　2,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	5.00	5.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期（予想）				5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想（平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,860	△2.3	170	10.3	190	△5.9	105	△13.9	7.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,700,000 株	24年3月期	14,700,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	41,775 株	24年3月期	39,587 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	14,658,917 株	24年3月期3Q	14,661,654 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
（４）追加情報 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興関連需要や経済対策の効果もあり、緩やかな回復基調となりました。また、12月の政権交代を機に景気回復の期待感から株価の回復や円安となりました。しかしながら、欧州債務問題の長期化や新興国の成長の鈍化により、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、海外拠点の整備と拡充を行うとともに、積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期間比2.5％減少し、売上高は110億67百万円余(対前年同期間６億53百万円余減)となりました。損益面につきましても、外注費比率は微減となりましたが、売上高が減少したことにより、営業総利益は前年同期間比12.4％減少し９億円余(対前年同期間１億27百万円余減)となりました。営業利益は前年同期間比54.1％減少し84百万円余(対前年同期間99百万円余減)、経常利益は前年同期間比45.5％減少し１億21百万円余(対前年同期間１億１百万円余減)となりましたが、前年は特別損失に投資有価証券評価損を１億72百万円余計上していたことにより、四半期純利益は対前年同期比105.9％増加し75百万円余(対前年同期間38百万円余増)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨が増加しましたが、機械機器製品、非金属鉱物品が減少したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比5.2％減少し27億24百万円余、セグメント損失は76百万円余（前年同期間はセグメント利益２百万円余）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、雑貨、機械製品が減少したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比4.9％減少し43億45百万円余、セグメント利益は41百万円余（前年同期間はセグメント利益１億８百万円余）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は日中関係の悪化に伴い、中国向け自動車、建設機械部品の輸出に壊滅的な影響が出たことと、当会計期間末の円安基調が輸出増に寄与するまでには至らず全体的な荷動きの改善には結びつかなかったことで、売上高は前年同期間比8.3％減少し10億41百万円余の計上となりました。国際輸入は、昨年好調であった家電製品が国内景気の停滞の影響により夏物、冬物ともに輸入量が伸びず、売上高は前年同期間比6.3%減少し28億３百万円余の計上となりました。その結果、全体の売上高は前年同期間比6.9％減少し38億44百万円余、セグメント利益は１億４百万円余(前年同期間はセグメント利益59百万円余)の計上となりました。

④その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比3.3％減少し２億17百万円余となり、セグメント利益は前年同期間比1.2％増加し、15百万円余の計上となりました。

（注）　上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入63百万円余を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ７億58百万円余増加し、97億61百万円余となりました。流動資産は２億９百万円余増の34億80百万円余、固定資産は５億49百万円余増の62億80百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、国内物流倉庫建設による建物の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ４億18百万円余減少し、45億39百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、11億96百万円余増加し、29億31百万円余となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金の減少等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、19百万円余減少し、22億90百万円余となりました。これは、その他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年11月２日公表の通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ６百万円増加しております。

（４）追加情報

（その他有価証券に係る減損処理基準の変更）

従来、「その他有価証券」で時価のあるものにつきましては、時価が取得原価に比べ40％以上下落した場合には減損処理を行い、30～40％程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性を考慮して必要と認められた額について減損処理を行うこととしておりましたが、世界的な金融市場における混乱により、株価の変動幅が増大していることを踏まえ、第１四半期連結会計期間より、時価が取得原価に比べ50％以上下落した場合には減損処理を行い、30～50％程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性を考慮して必要と認められた額について減損処理を行うことに変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は15百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	653,449	869,694
受取手形及び売掛金	1,872,020	1,785,184
繰延税金資産	98,621	98,621
立替金	576,022	578,656
その他	73,324	149,858
貸倒引当金	△2,100	△1,247
流動資産合計	3,271,338	3,480,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,297,611	1,878,896
機械装置及び運搬具（純額）	21,987	108,662
工具、器具及び備品（純額）	8,503	14,774
土地	1,778,853	1,778,853
リース資産（純額）	82,994	86,251
建設仮勘定	151,588	16,828
有形固定資産合計	3,341,539	3,884,267
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	65,674	143,398
無形固定資産合計	100,234	177,958
投資その他の資産		
投資有価証券	981,937	959,024
差入保証金	811,867	791,827
その他	536,741	508,811
貸倒引当金	△41,305	△41,406
投資その他の資産合計	2,289,241	2,218,257
固定資産合計	5,731,015	6,280,482
資産合計	9,002,354	9,761,249

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,417,228	1,301,098
短期借入金	2,974,757	2,618,402
リース債務	36,752	39,004
未払法人税等	32,273	57,612
賞与引当金	203,988	104,104
その他	292,474	418,922
流動負債合計	4,957,474	4,539,143
固定負債		
長期借入金	1,388,530	2,761,224
リース債務	50,930	53,248
繰延税金負債	34,743	22,822
退職給付引当金	141,144	32,605
役員退職慰労引当金	119,323	61,252
固定負債合計	1,734,671	2,931,153
負債合計	6,692,145	7,470,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,380,009	1,382,298
自己株式	△8,823	△9,176
株主資本合計	2,276,614	2,278,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,594	12,402
その他の包括利益累計額合計	33,594	12,402
純資産合計	2,310,208	2,290,952
負債純資産合計	9,002,354	9,761,249

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業収入	11,721,805	11,067,893
営業費用	10,693,334	10,167,134
営業総利益	1,028,470	900,759
一般管理費	843,849	816,067
営業利益	184,621	84,691
営業外収益		
受取利息及び配当金	27,075	29,771
貸倒引当金戻入額	－	117
持分法による投資利益	24,144	18,361
その他	48,367	59,035
営業外収益合計	99,587	107,285
営業外費用		
支払利息	59,699	68,256
その他	2,173	2,596
営業外費用合計	61,873	70,853
経常利益	222,335	121,123
特別利益		
固定資産処分益	1,140	2,097
特別利益合計	1,140	2,097
特別損失		
固定資産除売却損	155	95
投資有価証券評価損	172,530	100
特別損失合計	172,686	195
税金等調整前四半期純利益	50,789	123,025
法人税等	14,048	47,383
少数株主損益調整前四半期純利益	36,741	75,642
四半期純利益	36,741	75,642

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	36,741	75,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,573	△21,191
その他の包括利益合計	30,573	△21,191
四半期包括利益	67,314	54,450
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,314	54,450
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,866,439	4,565,541	4,128,040	11,560,022	161,783	11,721,805	―	11,721,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,730	1,730	―	9,461	63,102	72,563	△72,563	―
計	2,874,170	4,567,271	4,128,040	11,569,483	224,885	11,794,369	△72,563	11,721,805
セグメント利益	2,225	108,086	59,367	169,679	14,941	184,621	―	184,621

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２．調整額△72,563千円は、セグメント間取引消去額であります。

３．セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,722,168	4,343,466	3,844,182	10,909,818	158,075	11,067,893	―	11,067,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,903	2,233	―	4,136	59,355	63,492	△63,492	―
計	2,724,071	4,345,700	3,844,182	10,913,955	217,430	11,131,385	△63,492	11,067,893
セグメント利益又は損失(△)	△76,403	41,410	104,567	69,574	15,116	84,691	―	84,691

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

２．調整額△63,492千円は、セグメント間取引消去額であります。

３．セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の「輸入」「国際」「その他」のセグメント利益は微増し、「輸出」のセグメント損失は微減しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

該当事項はありません。